

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【公表番号】特表2010-502476(P2010-502476A)

【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-526609(P2009-526609)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/395 (2006.01)

B 4 1 M 5/392 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/26 L

B 4 1 M 5/26 J

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 5 0】

実施例は、ポリオールの添加により浸漬試験結果を向上でき、その 1 つの説明が架橋であることを示す。エチレングリコールおよびビスフェノール A などの、2 つのみのヒドロキシル基を有する化合物は、比較的低い性能を示す。エチレングリコールおよびグリセロールなどの、より高い濃度のヒドロキシル基を有する化合物は、比較的低い性能を示す。

本発明は以下の実施の態様を含むものである。

1. 支持層と、

前記支持層によって支持され、かつカルボン酸基を含有するバインダーを含む転写層とを含む熱転写プロセスに使用するためのドナー要素であって、

前記転写層が、18 mM / g (ミリモル / グラム) 未満のヒドロキシル基濃度での複数のヒドロキシル基と、少なくとも 1 つの連結基とを含有する有機化合物を含み、

前記化合物が、N, N - ビス - (2 - ヒドロキシエチル) アミドおよびロジンエステルを全く含まない、ドナー要素。

2. 前記有機化合物が、延長基を全く含まない、前記 1 に記載の要素。

3. 前記有機化合物が、延長基を含む、前記 1 に記載の要素。

4. 前記有機化合物が、複数の延長基を含む、前記 1 に記載の要素。

5. 前記有機化合物が、少なくとも 3 つのヒドロキシル基を含む、前記 1 に記載の要素

6. 前記有機化合物が、少なくとも 4 つのヒドロキシル基を含む、前記 1 に記載の要素

7. 前記有機化合物が、少なくとも 6 つのヒドロキシル基を含む、前記 1 に記載の要素

8. 前記少なくとも 1 つの連結基のうちの 1 つの連結基が、(CH₂)₄C 化学構造を含む、前記 1 に記載の要素。

9. 前記少なくとも 1 つの連結基のうちの 1 つの連結基が、(CH₂)₃CCCH₂OCH₂C(CH₂)₃ 化学構造を含む、前記 1 に記載の要素。

10. 前記有機化合物が、少なくとも 2 個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記 1 に記載の要素。

11. 前記有機化合物が、少なくとも3個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記1に記載の要素。

12. 前記有機化合物が、少なくとも10個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記1に記載の要素。

13. 前記有機化合物が、超分岐ポリオールである、前記1に記載の要素。

14. 前記有機化合物が、エステル基を含む超分岐ポリオールである、前記1に記載の要素。

15. 前記有機化合物が、エーテル基を含む超分岐ポリオールである、前記1に記載の要素。

16. 有機化合物のヒドロキシル基対バインダーのカルボン酸基の当量の比率が、0.25:1~4:1の範囲内である、前記1に記載の要素。

17. 前記バインダーが、アクリル酸のコポリマーを含む、前記1に記載の要素。

18. 前記バインダーが、メタクリル酸のコポリマーを含む、前記1に記載の要素。

19. 熱転写ドナー要素の使用方法であって、

支持層、及び前記支持層によって支持され、かつカルボン酸基を含有するバインダーを含む転写層を含む熱転写ドナー要素と、レシーバ要素との集成体を提供する工程であって、前記転写層が、18 mM/g未満のヒドロキシル基濃度での複数のヒドロキシル基と、少なくとも1つの連結基とを含有する有機化合物を含み、前記転写層が、少なくとも1つの箇所前記レシーバ要素と接触している、工程と；

レーザーを用いて所定のパターンにしたがって前記集成体を画像形成して、使用済みのドナー要素と、前記転写層のパターンを含む画像形成されたレシーバ要素との画像形成された集成体を提供する工程と；

前記使用済みのドナー要素を、前記転写層のパターンを含む画像形成されたレシーバ要素から分割する工程とを含み、

前記有機化合物が、N,N-ビス-(2-ヒドロキシエチル)アミドおよびロジンエステルを全く含まない、方法。

20. 前記画像形成されたレシーバ要素の転写層を10分間超にわたって80 超に加熱する工程をさらに含む、前記19に記載の方法。

21. 前記画像形成されたレシーバ要素の転写層を10分間超にわたって160 超に加熱する工程をさらに含む、前記19に記載の方法。

22. 前記有機化合物が、延長基を全く含まない、前記19に記載の方法。

23. 前記有機化合物が、延長基を含む、前記19に記載の方法。

24. 前記有機化合物が、複数の延長基を含む、前記19に記載の方法。

25. 前記有機化合物が、少なくとも3つのヒドロキシル基を含む、前記19に記載の方法。

26. 前記有機化合物が、少なくとも4つのヒドロキシル基を含む、前記19に記載の方法。

27. 前記有機化合物が、少なくとも6つのヒドロキシル基を含む、前記19に記載の方法。

28. 前記少なくとも1つの連結基が、 $(CH_2)_4C$ 化学構造を含む、前記19に記載の方法。

29. 前記少なくとも1つの連結基が、 $(CH_2)_3CCH_2OCH_2C(CH_2)_3$ 化学構造を含む、前記19に記載の方法。

30. 前記有機化合物が、少なくとも2個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記19に記載の方法。

31. 前記有機化合物が、少なくとも3個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記19に記載の方法。

32. 前記有機化合物が、少なくとも10個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記19に記載の方法。

33. 前記有機化合物が、超分岐ポリオールである、前記19に記載の方法。
34. 前記有機化合物が、エステル基を含む超分岐ポリオールである、前記19に記載の方法。
35. 前記有機化合物が、エーテル基を含む超分岐ポリオールである、前記19に記載の方法。
36. 有機化合物のヒドロキシル基対バインダーのカルボン酸基の当量の比率が、0.25:1~4:1の範囲内である、前記19に記載の方法。
37. 前記バインダーが、アクリル酸のコポリマーを含む、前記19に記載の方法。
38. 前記バインダーが、メタクリル酸のコポリマーを含む、前記19に記載の方法。
39. レシーバ要素と、
熱転写によって前記レシーバ要素上に付着される層と
を含むカラーフィルターであって、
前記層が、カルボン酸基を含有するバインダー、ならびに18mM/g未満のヒドロキシル基濃度での複数のヒドロキシル基及び少なくとも1つの連結基を含有する有機化合物を含み、前記化合物が、N,N-ビス-(2-ヒドロキシエチル)アミドおよびロジンエステルを全く含まない、カラーフィルター。
40. 前記有機化合物が、延長基を全く含まない、前記39に記載のカラーフィルター。
41. 前記有機化合物が、延長基を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
42. 前記有機化合物が、複数の延長基を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
43. 前記有機化合物が、少なくとも3つのヒドロキシル基を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
44. 前記有機化合物が、少なくとも4つのヒドロキシル基を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
45. 前記有機化合物が、少なくとも6つのヒドロキシル基を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
46. 前記少なくとも1つの連結基が、 $(CH_2)_4C$ 化学構造を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
47. 前記少なくとも1つの連結基が、 $(CH_2)_3CCH_2OCH_2C(CH_2)_3$ 化学構造を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
48. 前記有機化合物が、少なくとも2個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
49. 前記有機化合物が、少なくとも3個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
50. 前記有機化合物が、少なくとも10個の原子の最短連結長さを有する連結基を含む、前記39に記載のカラーフィルター。
51. 前記有機化合物が、超分岐ポリオールである、前記39に記載のカラーフィルター。
52. 前記有機化合物が、エステル基を含む超分岐ポリオールである、前記39に記載のカラーフィルター。
53. 前記有機化合物が、エーテル基を含む超分岐ポリオールである、前記39に記載のカラーフィルター。
54. 有機化合物のヒドロキシル基対バインダーのカルボン酸基の当量の比率が、0.25:1~4:1の範囲内である、前記39に記載のカラーフィルター。
55. 前記バインダーが、アクリル酸のコポリマーを含む、前記39に記載のカラーフィルター。
56. 前記バインダーが、メタクリル酸のコポリマーを含む、前記39に記載のカラーフィルター。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持層と、

前記支持層によって支持され、かつカルボン酸基を含有するバインダーを含む転写層とを含む熱転写プロセスに使用するためのドナー要素であって、

前記転写層が、18 mM / g (ミリモル / グラム) 未満のヒドロキシル基濃度での複数のヒドロキシル基と、少なくとも1つの連結基とを含有する有機化合物を含み、

前記化合物が、N, N - ビス - (2 - ヒドロキシエチル) アミドおよびロジンエステルを全く含まない、ドナー要素。

【請求項 2】

熱転写ドナー要素の使用方法であって、

支持層、及び前記支持層によって支持され、かつカルボン酸基を含有するバインダーを含む転写層を含む熱転写ドナー要素と、レシーバ要素との集成体を提供する工程であって、前記転写層が、18 mM / g 未満のヒドロキシル基濃度での複数のヒドロキシル基と、少なくとも1つの連結基とを含有する有機化合物を含み、前記転写層が、少なくとも1つの箇所前記レシーバ要素と接触している、工程と；

レーザーを用いて所定のパターンにしたがって前記集成体を画像形成して、使用済みのドナー要素と、前記転写層のパターンを含む画像形成されたレシーバ要素との画像形成された集成体を提供する工程と；

前記使用済みのドナー要素を、前記転写層のパターンを含む画像形成されたレシーバ要素から分割する工程と

を含み、

前記有機化合物が、N, N - ビス - (2 - ヒドロキシエチル) アミドおよびロジンエステルを全く含まない、方法。

【請求項 3】

レシーバ要素と、

熱転写によって前記レシーバ要素上に付着される層とを含むカラーフィルターであって、

前記層が、カルボン酸基を含有するバインダー、ならびに18 mM / g 未満のヒドロキシル基濃度での複数のヒドロキシル基及び少なくとも1つの連結基を含有する有機化合物を含み、前記化合物が、N, N - ビス - (2 - ヒドロキシエチル) アミドおよびロジンエステルを全く含まない、カラーフィルター。